

福岡からUターンした上対馬の延縄漁師

上対馬町漁業協同組合 向井 拓也さん 38歳

漁業暦18年

国境の島対馬で延縄漁業を営んでいます。

向井さんが所属している上対馬町漁協は、若手の漁師が多く、青壮年部の活動も盛んです。また、魚種が豊かで、アマダイ（紅王）やタチウオ（銀太）はブランド魚として流通しています。

向井さんは、幼い頃から、漁師だった父の背中をみて育ち、高校卒業後に一度島を出ましたが、20歳のときにUターンして、漁師になることを決意。その後、父親の船に乗り込み、漁業技術を習得し、27歳で独立しました。当初は思うように漁獲することができませんでしたが、少しずつ水揚げが上がり、今では漁協の若手のエースとなっています。

延縄の出港時間は日が昇る前で、夜明けとともに投縄するので、朝は早いですが、日帰りで操業ができます。漁師の仕事は厳しいですが、自分の腕一本で実力勝負ができる世界は楽しいとのこと。また、対馬の漁師は横の繋がりが強く、いろいろなことを先輩から教わります。島外から来られた方も安心して働くことができます。



経歴

18歳 高校卒業後、島外に進学

高校卒業後は、福岡県で専門学校に進学。

20歳 対馬にUターンし、漁師になることを決意。

父親の船に乗り込み、漁業技術を習得。

27歳 父から独立し、1人で操業。

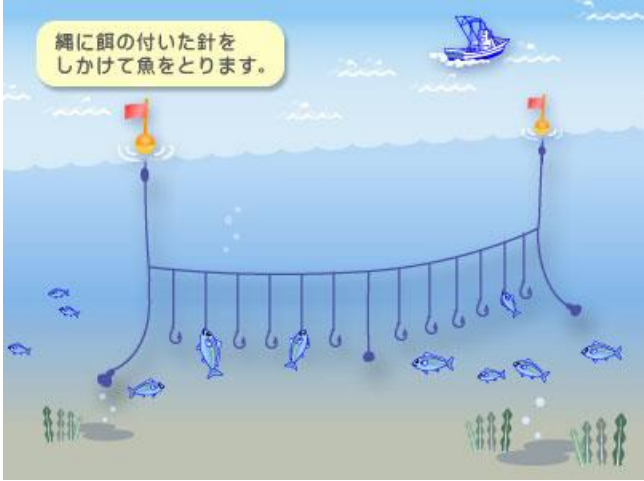
父親から独立し、1人で操業。

向井さんの一日



延縄漁業の紹介

縄に多数の針をつけ、イカやサンマなどを餌として使用し、投縄したのち引き上げて漁獲する漁法です。



漁業以外の活動の様子

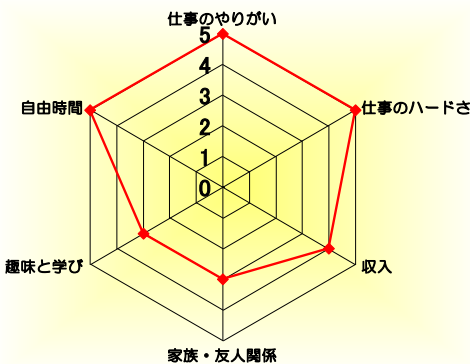


青年漁業士に認定
漁業士会では水産振興、担い手対策等に取り組んでいます。



水産教室
小中学生に魚の捌き方を教えています。

向井さんの本音チャート



自分の船で、自分の腕で稼いで対馬で生きる！

これから漁業に就きたい人へ

私が所属する古里漁組では島外からも新規就業者を受け入れています。漁組組織で受け入れることで、いろんな方から指導を受けることができます。また、漁師の仕事だけでなく、地域の行事にも積極的に参加する人を求めています。漁師は本人の覚悟次第ではやりがいのある仕事です。
漁業に就きたい方は離島で就業の検討を！